育桜会だより

第101号
平成30年3月15日
発行
奈良教育大学
附属中学校
育桜会
編集
広報部
印刷
(有)山田印刷

さくらは 花に 顕(あらは)る

学校長　松川　利広

卒業生のみなさんに「さくらは 花に 顕(あらは)る」という言葉を贈ります。

もとの意味は「桜は花が咲くと、森の中での所在が美しく明らかになる。」ということですが、転じて「ふだんは他の雑木に交じっていて目立たなかった桜の木も、ひとたび花を咲かせると、まぎれもなく桜であったことがわかる。そのことから、いつもは他の平凡な人々の間に紛れていた人が、機会を得て隠れていた才能を発揮するたとえ」として用いられるようになりました。

みなさんの前途を思うと、いつも順風満帆というわけにはいかなくて、逆風、下積みの時間の方が長いかもしれません。しかし、そのことで、ひるんだり、くさったりしないで、「さくらは 花に 顕(あらは)る」の言葉を信じ、いつの日にか、チャンスが訪れたとき(活躍の機会が与えられたとき)、自らの資質・能力をいかんなく発揮できるよう、常に備える生活を送ってほしいと思います。常に備える上で、大切なことは、「よく学ぶ」、「よく遊ぶ」の二つです。

「よく学ぶ」には、どのような教科、分野、職業であれ、疑問符(課題)と感嘆符(解決や発見)がある生活を送っているかどうかが鍵になると思います。表面的な知識理解やルーティン的な活動にとどまり、それで了としていたのでは、この世に生を受けた人間として、もったいないと思います。

やはり、「よく学ぶ」姿勢には、疑問符を感嘆符に変えたいという熱い願いと、自分の学びが、他者の生きるよろこびに、直接、間接につながっている(つながっていく)という自覚、意識がなくてはなりません。

一方、「よく遊ぶ」ことも大切です。「よく遊ぶ」ことは、「意味」の世界から離れ、無意味の世界に身をおき、心を「意味」の網目から解放することです。そうすることが、心身の健康を保持・増進させるばかりでなく、ときには、新しい視点や、新しい「意味(価値)」の発見や創造にもつながるようなアイデアをもたらすのではないかと思います。

みなさんは、まだまだ若木であります。この三年間、一本一本の若木は、よく耕された土壌で、それぞれよく育ちました。

附中時代の「学び」と「遊び」を礎として、いつの日にか「さくらは 花に 顕(あらは)る」を体現する人生を切り開いていってください。

知識を知恵に

副校長　谷口　尚之

ご卒業おめでとうございます。

昨年、前人未踏の永世七冠を達成された将棋の羽生善治さんは「アイデアの99%は、過去にあったもの同士を今までになかった組み合わせにしたものだ」と言っておられます。

アイデアの豊かな人は素養としての多くの知識を持ち、その知識を理解した上で、状況にあわせて必要な知識を取り出し、組み合わせたり、転換したりして「知恵」に変えていける人だというのです。

皆さんは附中での三年間で、「知恵」の根幹となる知識を立派に身につけてくれたことと思います。

一昨年、国連持続可能な開発サミットでSDGs(持続可能な開発目標)が採択されましたが、裏を返せば、それらが人類全体で取り組むべき差し迫った課題だということです。

次代を担う皆さんにはぜひ、知識をさらに上積みし、場面に応じて知識を組み合わせたり、組み替えたりして、人類の課題を解決する豊かな知恵を身につけていってほしいと願っています。

この場所から未来へ

育桜会会長　佐藤真理子

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。

制服姿がよく似合うと眩しく思った春から三年。毎日のように成長する皆さんをPTA活動を通して見守り、対話し、応援する中で、私自身皆さんからたくさんのエネルギーをもらいました。三年間で成長した姿をとても頼もしく感じています。

いよいよ自分で選ぶ人生のはじまり。これから経験する事、そこでしか学べないことや出会いは決して無駄ではありません。野に咲く花にも役目があります。この世に必要でない人はいません。それに気付くかどうか。それが大切なことだと私は思います。

皆さんはたった一つの尊い命をもってこの世に生まれた大切な存在です。悩んだ時は人に頼ってください。そして頼って、頼られる人になってください。考え方ひとつで人は変われます。

この場所から未来へ…皆さんをこれからもずっと見守り応援します!

新しい船出に

主幹教諭　松田　孝史

三年生の皆さん。卒業おめでとうございます。これまで本当によく頑張ってきましたね。

今の皆さんは、「附中」という小さな海からもっと広い大きな海へと新たに船を進めていく水夫のようです。

これまで過ごしてきた入江の中とは違い、外海では波も高く、当たる風もずいぶん強くなることでしょう。そして何よりも、目印となって導いてくれる灯台は遠くなり、広い海の中で路に迷うことになるかもしれません。

しかしながら悪いことばかりでもありません。

何よりも未知の世界で新たな人々と出会い、多くの発見を経験できるのは、かなり刺激的なことです。少々の遠回りも若いときには大きな痛手にもなりません。

そして皆さんにはぜひ、そのような冒険心と好奇心を常に心に抱き、何事にも恐れず積極的に関わっていってほしいと思います。

皆さんのすばらしい未来に幸あれ!

3年学年主任　有馬　一彦

3年生のみなさん、卒業おめでとう!とうとう別れの日を迎えることになりました。でも、「別れ」があるからこそ、共に過ごせる時間が貴重であり、「別れ」があるからこそ、新たな出会いを迎えることができるのです。　今日のこの日を悲しい日ではなく、未来に向けた門出の日として、みなさんと共に喜びを分かち合いたいと思います。　それぞれの道へ、どうか力強く羽ばたいてください。人生にはいろいろなことがあるけれど、みなさんなら大丈夫だと心から信じています。

3年1組　担任　小嶋　祐伺郎

あなたに会えてよかった　毎日笑顔をもらったから
あなたに会えてよかった　こころが暖かくなったから
あなたに会えてよかった　子どもは天使だと分かったから
あなたに会えてよかった　生きる意味を知ったから
あなたに会えてよかった　あなたにせんせいと呼ばれたから
あなたに会えてよかった　わたしの最後の教え子があなただから
あなたに会えてよかった…　だから　わたしはしあわせでした
ありがとう……

3年2組　担任　吉岡　睦美

附中での学びは「対話」の学びといえます。人との「対話」、書物との「対話」、そして自分自身との「対話」です。そして、あらゆる場面で、「振り返る」ことによって、学びのまとめを行いました。「振り返り」は、英語でReflectといい「自分と向き合う」という意味があります。

附中の学びをもとにして、人に「愛」され、人を「愛」し、「運」を自分でつかみ、ご「縁」を大切にする「あいうえお」の人生を歩んでください。心から応援しています。

3年3組　担任　若森　達哉

ご卒業おめでとうございます。

君たちと関われた1年間は私にとって、大きな価値観の変容をもたらしました。人は出会った人との関わりで、生き方が変わっていくのだと私は思います。その意味はすぐには気が付かないかもしれませんが、きっと価値のあるものです。

これから新しい生活になり、新しい出会いがあり、新しい経験を積み、新しい知識を身に付けるでしょう。いつもその価値を考えながら、大切にしてほしいと思います。

3年4組　担任　市橋　由彬

3年前皆さんは奇跡的にこの附中に集まり、ONE BY ONE(一人ずつ)、ONE BY ONE(一つずつ)、そしてONE BY ONE(一歩ずつ)、皆さんはつながってきました。

アインシュタインは『昨日から学び、今日を生き、明日へ期待しよう。大切なのは疑問を持ち続けることだ。』と言っています。皆さんは、これからまた一人一人別の道を歩むことになりますが、その道がどんな道であっても、一人ずつ、一つずつ、一歩ずつ前進してください。そして、これまで歩んできた人生を糧に、毎日を懸命に過ごし、そこで身に付けた力で未来を切り開いてください。卒業おめでとう。

3年5組　担任　大谷　佳子

「なかまとともに」

卒業おめでとうございます。

自分らしく、進みたい道をゆっくりさがしながら、
なかまと一緒にじっくり歩んでください。

自分の余力は与え、
困ったら力を借りて、
なかまとともに!

卒業おめでとう

卒業おめでとう。新たな道でがんばろう。
吉村　克秀（事務）

自信を持ってそれぞれの道を進んでください。
鬼塚　真弓（事務）

ポケットに夢一つ文庫本。卒業おめでとう！
佐久間　朋子(図書館司書)

卒業おめでとう。
毎日の元気をありがとう、これからも元気で。
西村　富雄（校務）

元気に挨拶する人は楽しい未来が約束される！
石井　孝昌（警備）

幸せ多い未来になりますよう願っています。
山野　太一郎（警備）

三年一・四組　美術科　副担任　新井　馨

ご卒業おめでとうございます。

これからの皆さんには無限の可能性が広がっています。

新しい人やコトとの出会いがたくさんまっていることでしょう。その出逢いをどう受け取り、どう考え、何を選択していくか、いつも自分に問いかけながら一歩一歩進んで行ってください。

希望に満ちあふれたこれからの皆さんに幸あれ～！

三年二・三組　英語科　副担任　奥原　牧

七転び八起き

卒業おめでとう!!みんなと会えてとても幸せでした。そして、ありがとう!!

みんなに贈る言葉は、「人生、七転び八起き」です。失敗をしない人間なんかいません。その失敗に挫けて諦めず、時間がかかってもそれを糧にして前を向いてください。

自分ではまだわからなくてもみんなは可能性に溢れているのだから。

音楽科　川合　利幸

皆さん卒業おめでとうございます。

今みなさんは心も体も一番成長する時期です。

今から数年のこの時期に、ぜひ自分が人生を通して打ち込める何かに出会ってください。そして、そのことに磨きをかけてください。この事が役立つ日が必ず訪れます。

さあ！いちばん成長するのは今です。

家庭科　中嶋　たや

過去の自分が
今の自分をつくる

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

ワンオクロックの「キミシダイ列車」の歌詞に「過去の自分が今僕の土台となる」という一節があります。一日一日を大切にして、そのときにできる事をつずつやっていってください。そのことが、あなたの未来を確実に開いていってくれます。がんばってくださいね。

技術科　葉山　泰三

「覚悟」

卒業おめでとう！

大切な節目の日に際して、人生に役立つかもしれない「伸びる人」になるコツをお伝えさせて頂きます。それは「覚悟」を決めることです。その上で「誠実」に「努力」を積み重ねれば、内に秘められた能力が開花し、大きく伸びるのです。

人生は苦難の連続ですが、苦しい時、よかったら試してみてください。

養護教諭　成田菜津美

卒業おめでとうございます

この三年間、楽しい事ばかりではなく、辛く苦しい時もあったと思います。でも、どんな事にも無駄はありません。

辛い経験が自分を強くしてくれたり、辛い思いをしている人の気持ちに寄り添うことができたり。今までの経験すべてが自分の糧となるのだと思って、これからもチャレンジを忘れず歩んでいってほしいと思います。

養護教諭　勢頭　美里

卒業おめでとう。

三年生のみなさんが新たな道に進んでいくことを、心から嬉しく思うのと同時に少し寂しくも感じます。

礼儀正しく優しいみなさんは、きっとどこに行っても大丈夫。それでも、もし疲れてしまったときは附中の仲間を思いだしてください。ここでの絆はかけがえのない財産です。

これからもみなさんの心と体の健康を祈っています。

京都めぐりレポート

三学年主任　有馬一彦

三年生は、12月1日に京都めぐりへ出かけました。

銀閣寺や清水寺といった京都東山方面を中心に活動を行いました。

京都は紅葉シーズンで観光客や学生が多く、たいへんにぎわっていました。

二度目の京都めぐりなので、活動がスムーズにできたのではないでしょうか。

当日は道路の渋滞や道を間違えるなどの少々のハプニングはあったものの、大方の班が計画通りに動くことができていたと思います。

中学最後の郊外行事を秋の京都の地で充分に満喫でき、良い行事となりました。

奈良めぐりにおける新たな挑戦

二学年主任　葉山泰三

二学年における冬の奈良めぐりにおいては、新たな挑戦を行いました。

実行委員の子どもたちが主体となって新コースを4つ創り、より意義深い活動に挑んだのです。

見所においては、実行委員の子たちが詳しい解説を行いながら学習を進めました。

事後学習における発表会においては、胸を張って学びの深さを語ってくれる子たちも現れ、感動すら覚えました。

入学以来、地道に蓄えてきた学びの種が、今、確かに芽吹き出しています。今後の成長が更に楽しみになってきました。

冬の奈良めぐり　東大寺

一学年主任　佐古田康義

少し寒さも和らいだ2月9日、一年の奈良めぐりで東大寺を訪れました。

世界遺産・文化財学習の一環として取り組んでいる奈良めぐりも三十年を越える蓄積があります。

本物に触れる体験を重視している活動です。事前の学習をふまえ、大仏造立の経緯や時代時代に修復された様子を文章スケッチしたり、境内で最古の三月堂本堂の建物の造りに注意しながらスケッチしたり、仏像や古建築をみるポイントを意識しながら、実物から得られるもの（文化財の価値など）を生徒みんなで体感できました。

三年間で奈良の文化財にふれる機会であるこの行事が長く続くことを願っています。

一年を振り返って

育桜会本部

今年度も役員の皆様のご協力により、スポーツデー保護者競技・文化のつどいバザー・メディアとのつきあい方講座・育桜会だより第一〇〇号など、さまざまな内容の行事をお届けすることができました。

11月の幼小中による三附属交流会では、大学の中澤静男先生のご協力の下『奈良町フィールドワーク』を開催し、大好評の感想をたくさんいただきました。

1月には毎年恒例の『附中版ようこそ先輩』を行いました。今回は会社員、県庁職員（福島県に派遣）、教育委員会（元教員）など5人の先輩方にお越しいただきました。それぞれの先輩方に共通するのは、現在の自分の仕事に誇りをもっておられることと、その原点が「附中時代に培われた」と仰っていたことです。子供達も身近な先輩のお話に聞き入っていました。

育桜会主催の行事を通し、保護者同士の繋がりが子供達の繋がりに反映することを信じて、これからも活動して参ります。一年間ありがとうございました！

学校保健委員会

今年度は「ネット・スマホが子どもの心とからだに与える影響」をテーマに、年間4回の委員会活動、研修会の参加、冊子「健やかな成長をねがって」の発刊等行いました。

本校カウンセラーの国松先生、学校医の先生方のお力をお借りし、保護者の方々のネット・スマホに関する疑問や不安な気持ちを解消すべく、活動を進めました。

また、11月の「薬物乱用防止教室」では、昨年度まで本校薬剤師としてお世話になっておりました北村先生をお招きし、喫煙、飲酒、薬物についてはもちろん、「自分が、自分のからだの声を聴いて、自律して生きること」の大切さをお話し頂き、一年生、保護者の方々ともに、大変有意義な時間を過ごすことができました。

一年間、保健委員会の活動にご協力いただき有難うございました。

生活安全部

今年度も、朝の登校時と、スポーツデイの下校時の見守りをしました。通学路は、大変歩道が狭く朝は車の通行量も多いため、挨拶をしながら、横に広がるなど危険がないように見守りました。

夏休み最後の日曜日、8月27日に恒例の親子清掃を行いました。

暑い中たくさんの方々に参加していただき、日頃の清掃では手の行き届かない、高い窓や網戸、土手の草刈りを行いました。

皆様のご協力のお陰で、気持ち良く新学期を迎える準備ができました。

また、10月には、講演会「親子で考えるメディアとのつきあい方」を行いました。

これからも、子ども達が安全に良い環境で学校生活が送れるお手伝いができればと思います。

文化体育部

今年度の活動はスポーツデーの保護者競技、文化のつどいでのバザー開催、秋の社会見学をしました。

スポーツデーでは校長先生はじめ先生方と保護者の大玉運びで盛り上がり、バザーでは物品提供と購入に協力頂いた結果体育館の下駄箱と時計を新調できました。

社会見学では大和郡山の「ふれ藍工房綿元」にて藍染体験でストールを染め、素敵な仕上がりになりました。

各活動にて学年を超えた保護者同士の交流を深めていただけたのではないでしょうか。わたしたちも楽しく活動することができました。

先生方や保護者の皆さまにご協力いただきありがとうございました。

広報部

広報部は、「読みたくなる広報誌づくり」を目標に、育桜会だよりを3回、評議員会だよりを5回発行しました。

今年度は、学校創立70周年、育桜会だより第一〇〇号発行という節目に携わることができ、思い出深い一年となりました。さまざまな行事を取材させていただく中で、全ての活動はご協力いただく皆さまの温かい支えがあってのものだと改めて実感しました。

広報部の活動へのご協力ありがとうございました。

学校設備がリニューアル!!

相談室は、カーペット、ソファーが新調され、温かい雰囲気になりました。写真のほか、被服室・調理室のエアコン、給湯器などが、新しくなりました。これらの費用の一部は、みなさまからいただいた「環境整備費」が充当されています。

環境整備費については、教育後援会からのお便りをご覧ください。

CALL教室

相談室

体育館電波時計

昇降機

生徒会掲示板

3年生　手洗い場

編集後記

とりわけ厳しい寒さの冬が終わり、桜の季節はもうそこです。

卒業生のみなさん、おめでとうございます。附中での三年間、いろんなことがありましたね。ここで教わったこと、感じたことはきっと、今後の人生で生かされるはずです。

みなさんに、この言葉を贈ります。

「一生懸命は美しい」

陸上短距離の山縣亮太選手が大事にしている言葉だそうです。

ぜひこの先、全身全霊で打ち込めるものを見つけてください。